

第551号

主な記事

- ・県議会請願“採択” (1面)
- ・夏季特集「県内のいちおしカフェ」 (2・3面)
- ・産科医、小児科医不足の解消を (4面)
- ・病院のための労務ワンポイントアドバイス (4面)
- ・「知ったクワン」案内 (4面)



発行所 岩手県保険医協会

〒020-0034
盛岡市盛岡駅前通15-19
TEL 019-651-7341(代)
FAX 019-651-7374
発行人 小山田 榮二
https://www.i-hoken-i.org
購読料 年2,400円(〒別)
会員の購読料は会費に含まれています。

東日本大震災被災者が必要な受診ができるよう求める請願

岩手県は東日本大震災以来、被災された国民健康保険(以下「国保」)及び後期高齢者医療制度の被保険者の医療費窓口負担の免除を継続してこれられました。しかし、沿岸市町村の多くが免除継続に反対したため住民税課税世帯については2021年3月で打ち切り、非課税世帯も同年12月で打ち切りました。

この度当協会が被災された方々に行ったアンケート調査では、住民税非課税世帯の方が窓口負担が発生した後に「必要な通院はできている」との回答は国保で33.7%、後期高齢者医療で49.0%にとどまり、半数以上の方が「通院の回数が減った」「通院できなくなった」などと回答しています。2012年9月に打ち切られた社会保険の被保険者の方も「必要な通院はできている」は48.6%にとどまっています。

アンケートの意見にも「免除がないだけで負担がすごいです。免除を打ち切らないで欲しい」「皮膚科に行っていたけどやめた。4か所に行くけど生活ができなくなる」「物価は上がると本当に困ります。医療費を無料にして下さい」「薬代2万2,000円をまだ払っていない。免除にして欲しい」「年金が少なく医療費が払えず通院に困っている車が持っているために生活保護が受けられない」「なるべく窓口負担を軽くしてほしい」などの切実な声が多数寄せられています。

県は免除終了に当たり、「生活困窮者自立支援制度などにより経済的な理由で必要な医療が受けられないことがないよう関係機関と連携し支援する」とのことでしたが、当該制度は窓口負担の貸付けなど生活資金の貸付けが可能ですが、いずれ返済しなければならず、また保証人を付けなければ利息が発生するなど利用しやすい制度とは言えません。安心して利用できるような制度の改善が必要です。

沿岸部のある社会福祉協議会の担当者によれば、医療費窓口負担の免除が打ち切られて困ったとの声が相当数寄せられたこと、通院をやめて体調を崩した事例もあったとのこと。また、相談者には所得の状況から生活保護の利用を勧めることもあるが、生活保護基準に該当しないが厳しい生活をされている方には他に制度がないため、病気が悪化し窓口負担が大きくなるという早期の受診を勧めることしかできず、もどかしい思いをしているとのこと。

現実に経済的な理由で受診できない方がたくさんおられ、免除や負担軽減を求める声も多数上がっています。

低収入、年金の引き下げ、消費税10%、高額な税金や保険料にコロナ禍と物価高が追い打ちとなり、極めて厳しい生活を強いられています。被災された方が経済的な理由で必要な受診が妨げられることのないよう下記項目について請願致します。

【請願項目】

1. 被災された方が経済的な理由で受診できない事のないように、県としてより踏み込んだ対策を講じて下さい。
2. 被災された方が経済的な理由で受診できない事のないよう国において対策を講じるよう、国に対して意見書を提出して下さい。

記



県政記者クラブでの記者発表の様子

く、支援していくものなのかと感じておりました」と話しました。千田美津子委員は「今やっけてる支援で本当に良いのか、もっと把握していないこともあるのではないかと話していかないと、自治体待ちではなく、自治体待ちではなく、県独自の調査をしっかりとやって、こういう方々に支援の手が行くように、そういう手立てが欠けているのだと思います。把握する術をきちんとやっていく、その上で対応を考えることが必要だと思います」と話しました。

本会議でも採択

7月5日(火)、本会議が行われ、採決の結果、賛成24、反対22で採択されました。

賛成… 希望いわて、いわて県民クラブ、日本共産党、社

民党、無所属

反対… 自民党、いわて新国会

公明党

紹介議員(敬称略)

齊藤 信(日本共産党)

木村幸弘(社民党)

上原康樹(無所属)

暑中お見舞い
申上げます
役員・事務局一同
8月13日(土)〜16日(火)は
休務日とさせていただきます。

脂質異常症で思うこと

2007年、脂質は高いのが悪いとも限らないし、低HDL血症もあることから、日本動脈硬化学会が高脂血症という病名を脂質異常症に変更した。一方、薬の適応病名は脂質異常症だけでなく高脂血症、高コレステロール血症もある。薬の適応病名を正しくレセプトには記載しなければ保険診療では査定されないという。レセプトをチェックする方もチェックされる方も大変な手間であろう。

文明社会は高度分化型社会だそうだが、あまり分化しすぎると手間がかかることになり、どこかで、学会はLDLコレステロールが120、LDLコレステロールはLDLコレステロール140以上を高LDLコレステロール血症と定義している。この「1」について若い人に聞くと「139」というときに139以上は含まれるという。が、65歳以上の人に聞くと概ね139は含まれないという。この場合、139は含まれると読むべきであろう。が、139と140の間はどこにいくのだろう。簡略化されているとみるべきか。

時代と共に送り仮名も変わってきた。どう行なうのが正解かは変わっていくものらしい。労働人口が減る中、どうせ変わるなら簡略な方に変わっていったらと思う。自分の中に、簡略にしてほしい自分とこだわる自分はいらない。だが、労働者が少ない時代だから簡略化に舵を取ってほしい。(ま)

被災者が必要な受診ができるよう求める 県議会請願 “採択”

6月28日(火)、岩手県議会6月定例会において、

当日、請願提出前に県政記者クラブにて今年4月から6月にかけて当会

に答えました。

委員会議決で採択

7月1日(金)、県議会の環境福祉委員会で審議が行われました。千葉秀幸委員は「大詰めのハード面も終わったとはいえ、被災者に寄り添っているという姿勢も示していく必要もあるのかなという思い」と話す一方、吉田敬子委員は県健康国保課阿部総括課長の答弁を聞き、「医療費に関しての被災者から声というのは上がっていないというところでありました。今は被災者というよりも、11年も経っているので生活困窮者の支援が大きいというお話を聞いています。もちろん被災者に寄り添うことはその通りですが広い範囲で行って



五日市王県議会議長(左)に請願書提出

「日本大震災被災者医療費窓口負担アンケート調査結果」の記者発表も行いました。小山田榮二会長、小野寺けい子、黒田康之両副会長、事務局が資料説明や記者からの質問

に答えました。被災者の医療費窓口負担の免除打ち切り後、約半数の方がこれまで通りの受診ができていると回答していること、県の「経済的な理由で必要な医療が受けられないことがないよう支援する」方針とは裏腹に、実態は経済的な理由で受診できない方が多数存在し、とりわけ住民税非課税世帯の受診抑制が顕著であること、記者発表では調査結果をもとに同日、請願を行うことも発表。翌日、IBCニュースと盛岡タイムズで報道されま

した。

採決の結果、賛成5、反対4で採択されました。

委員会議決結果(敬称略)
賛成… 千葉秀幸、高橋はじめ、五日市王(以上、希望いわて)
佐々木努(岩手県民クラブ)
千田美津子(日本共産党)
反対… 佐々木茂光、白澤勉、山下正勝(以上、自由民主党)
吉田敬子(いわて新国会)



やぎミルク

宮古駅から徒歩3分、パリの街角にありそうなステキなカフェ。ここは、日本で初めて「ヤギミルク」を使ったスイーツ専門店「パティスリー・レドシエール」(宮古駅前)の2号店として2020年にオープンしました。始めは「ブルーランジェリー」としてパンの製造・販売も行っていたが、現在はカフェとしてヤギミルクを使ったメニューを提供しています。



カフェの外観



日本初! グラスフェッドヤギミルクのカフェ
CAFÉ BISTRO LAIT DE CHÈVRE



抹茶餅と大納言のクレープ

すっきりとした甘さのミルク

レドシエールのヤギミルクは、牧草のみで飼育されたグラスフェッド。市内から車で15分程度の「しあわせ牧場」で牛、羊、ロバと共に約400頭のヤギが飼育されています。

春から秋は水分を含んだ青草を食べ、冬は干し草を食べることから1年を通して味も変わります。出産の時期の春が一番おいしく、さわやかな味。夏はさっぱり、冬は濃縮されて濃いミルクとなります。

牧草のみで育ったヤギミルク



ストロベリーパンケーキ

一度はどこかで見たことがあるヤギの「イボンヌ」ちゃん。このキャラクターはレドシエールのマスコットキャラクターで、グッズも販売されています。1号店のパティスリー・レドシエールや駐車場の壁面にも描かれています。

カフェだけじゃない!

「POST BAKERY」。カフェのペーカリー部門を一手に引き受け、パン専門店の

パンケーキはヤギミルクを使ったりコッタチーズを使用。ふわふわで口に入れるととろける食感。お砂糖とハチミツをバターに練り込んだ自家製のハニコームバターがたっぷりのっています。バターがとけてパングキと一緒に食べた時のおいしさと比べると格別。酸味のあるイチゴがまたよく合います。

今回いただいたのは、「ヤギミルク」(300円)、「ストロベリーパンケーキ」(980円)と「抹茶と餅と大納言のクレープ」(680円)です。ヤギミルクはノンホモ低温殺菌で作られているため、搾りたてに近い風味で、コクはあるのにさっぱり。すっきりとしていて、クセはなく、ほのかな甘みを感じられます。



塩ういやぼたて、ほやを使ったパンも

[CAFÉ BISTRO LAIT DE CHÈVRE]
宮古市末広町 8-1
0193-65-9161
11:00 ~ 19:00
定休日 水曜

[PÂTISSERIE LAIT DE CHÈVRE]
宮古市大通 4-5-10
0193-65-6682
10:30 ~ 19:00 (年中無休)

[POST BAKERY]
宮古市末広町 7-29
0193-65-8839
9:00 ~ 18:00 (年中無休)

ツをカフェに持参すると、お皿に移してその場でいただくこともできます。パティスリーのおススメは「ヤギミルクのショートクリーム」(3200円)。2層に焼いたサクサクの生地に新鮮なヤギミルクで作った甘くココのあるカスタードクリームがたっぷり。

2021年にカフェの斜め向かいにオープンしたのが「POST BAKERY」。カフェのペーカリー部門を一手に引き受け、パン専門店の

としてオープンしました。水の代わりにヤギミルクを使ったパンはしっとりとしていて、もちり。国産小麦を使用、マーガリンや添加物不使用で手作りにこだわりの、クリームパンが人気です。

貴重なグラスフェッドミルク

カロリーが高い穀物を食べた牛はたくさんミルクを搾りますがグラスフェッドの牛は普通の牛の1/3、ヤギとなるとその1/5、羊は1/10のミルクしか搾れず、とても貴重です。ストレスのない環境で自然ととも育つ動物のミルクは、味が全く違います。カフェは、今まで宮古で食べることができなかったメニューを地元の方に楽しんでいただきたくとオープンしました。

他では食べることができないヤギミルクを使った料理を食べに足を運んでみませんか?



かぢや旅館18代目 小原 結 さん

敵な雰囲気のカフェ。しかもゲストハウスでもあり、泊まることも可能です。このカフェ&ゲストハウスは、30年以上続く「かぢや旅館」の18代目として小原結(つむぎ)さんが開業しました。

かぢや旅館本館は江戸時代中期から旅館業を営み、鍛冶屋業、木流しを業とし、時代に合わせ様々な形態で事業を展開してきました。2002年の水害で本館が休館に追い込まれ、別館を手伝いながら本館再建に向けて奔走しましたが18年に断念。

母の思いを継承したいという思いから今の時代に合った形で事業を始めました。2019年4月にオープンし、その後コロナ禍もあって、軌道に乗るまで大変だったとのことですが、宿泊業の合間にカフェを営むことで何とか続けられていると話してくれました。

[Café & Guest House kaziya]
一関市東山町長坂字町 43
0191-47-3377 (080-1836-0554)
カフェ 11:30 ~ 15:00
(ラストオーダー 14:30)
定休日 月・火曜



ゲストハウスの1室 (4人部屋)



洗面所

その後、閉院した内科医院の跡地と隣接する院長の自宅を改装、インテリアは奥様がコーディネートされた、オシャレなカフェとホテル風のウズに生まれ変わりました。

小原さんは、東京の調理師専門学校に進学、フレンチレストランで働き、マネジメントも学んだ後、地元の人たちの温かさや祖父

母の思いを継承したいという思いから今の時代に合った形で事業を始めました。2019年4月にオープンし、その後コロナ禍もあって、軌道に乗るまで大変だったとのことですが、宿泊業の合間にカフェを営むことで何とか続けられていると話してくれました。

カフェは月・火曜は定休日ですが、月曜は地元で子育て世代向けの場づくりやイベントを行っています。昨年12月からは月2回ほど保育園ゆいまると子ども食堂「ゆいまるとるキッチン」を園内にオープン。大人用のお弁当を販売すること間違いないです。



カフェ入り口

カフェに訪れたお客様には、1組1組、丁寧に対応され、ホスピタリティあふれる接客で、宿泊の口にも絶賛! 県内外の方にオススメしたいカフェです。

人と人のつながりを大切にしながら、地域の方だけでなく、全国から宿泊で訪れる方の交流の場にもなっているKAZIYA。自然の中でゆったりくつろげ、忙しい日常からリフレッシュできること間違いなしです。

産科医、小児科医不足の解消を

保団連代議員会で発言

6月26日(日)、東京都市センターホテルで第1回代議員会が行われ、小山田会長(保団連理事)が現地参加、黒田、坂本各副会長(代議員)、事務



発言する坂本代議員

局は協会事務所からウェブで参加しました。代議員113名、オブザーバー3名、保団連役員52名、事務局131名の計305名が出席しました。

当会からは2つの発言通告を行い、坂本代議員は事務所から口頭で発言しました。2021年度の決算など2つの議事はいずれも、賛成多数で採決となりました。

《当会からの発言通告要旨》

(全文は当会ホームページに掲載)

「少子化対策のため、産科医、小児科医の不足の解消に取り組もう」

●坂本代議員口頭発言要旨

産婦人科医の不足と、新生児を診察する小児科医の不足のため、岩手県釜石医療圏内での出産ができ

なくなつた。出産、育児に不自由な地域が多く存在すると思う。和歌山県立医科大学が「産科枠」と「不足診療科枠」を新設するという報道があったが、医師の偏在や少子化対策として、国立大学医学部で、産科、小児科の地域枠を設置することを提言し、産科、小児科の偏在や不足を運動課題として位置づけていただきたい。

◆答弁・竹田保団連副会長

医学部入学時に産科、小児科等の診療科を限定すべきではないと考えます。

竹田副会長の回答には、発言通告に記した岩手県の産科、小児科不足に触れられていなかったため、黒田代議員がフロア発言で、「入学時に専門科を決めるべきではない」という考えは理解できるが、現実的に、特に地方では産科医、小児科医の不足が危機的状況になっている。専門科を何かしら強制することがないと解決は難しいのではないかと。保団連ではどう解決しようと考えているのか」と質問したところ、竹田副会長は、「地域の事情は様々で、医師の増員、地域枠を設けることは重要かつ必要であるが、医学生への診療科指定は慎

26 労使トラブルの底流に働く者の

いじめパワハラの不満アリ

退職した職員が、パワハラでいじめられ精神的に傷ついたので慰謝料を請求したいという相談を受けました。話を聞く

と、先輩上司が威圧的で質問すると「さっき言ったわよね」といって答え

てくれない。そうは言われても実際質問もしていないし話も聞いていないかっただけという事になりました。

確かに傷つくような言動があったかもしれないが、とても慰謝料を請求するような内容ではないわけですね。それでも何とか恨みを晴らしたい。

このような時どうなるでしょう。よく労働時間を把握せず定額で賃金を支払っている事業所では、残業代不払い請求

となりやすくなります。はつきりした証拠がなければ当人のメモなども重要な証拠となります。ある弁護士の話では残業代請求事件が多発しているとのこと。

背景には弁護士の絶対人数の増加があります。昔は弁護士になるための司法試験は500人程度しか合格しませんでした。今は1500人近く

の人が合格します。しかも選択科目で断トツトップが労働法です。労働相

医師のための 労務コンプライアンス アドバイス

このほか、ろくに引き継ぎもせず事業所が困ることを承知で早くから有給を取って退職するケースもありました。これらの根底には多くの場合、いじめ・パワハラに対する

恨みや在職中「粗末」に扱われたという恨みが

あります。残業代トラブルをなくすには労働時間をきちんと把握し残業代をきちんと支払うことや労働時間短縮に努めることが第一ですが、スタッフを大切にリスペクトして処遇することも重要です。

つまりスタッフをどう見るか「経営者の立場」が問われます。いい思い出のある会社を退職した労働者に「未払い残業代を請求する気がありますか」と聞いたところ「とてもそんな気持ちになれない」ということでした。

曾我社会保険労務事務所

所長 曾我 浩

重にすべきと考えている。国民医療向上にむけて、医療崩壊に向かわないように医師不足の解消は国の責任で行う必要があることを求めている」と回答しました。

「処置や歯冠修復及び欠損補綴に包括されている麻酔薬剤料と浸潤麻酔の手術料を算定できる取り扱いとするよう強力な運動の推進を」

●黒田代議員文書発言要旨

保団連の要望により、「手術」に際して使用した麻酔薬剤料が別途算定できるようになったが、「処置」や「歯冠修復及び欠損補綴」に使用される麻酔薬剤料については、相変わらず評価されていない。使用した薬剤料、浸潤麻酔の手術料を算定できる取り扱いとするよう、医科の先生方のご賛同を得ながら医科歯科一体の取り組みとして強力に運動を推進していただきたい。

◆答弁・新井理事

診療現場の要望を明らかにする調査の結果に期待しています。ご指摘のとおり、現状では、歯科治療で麻酔を行っても技術料や薬剤料が算定できるケースは制限されています。薬価調査でも歯科麻酔薬は告示価格よりも割高です。手術時に麻酔薬剤料が算定できるようになったのも、医科の状況と照らして改善されたものと思います。引き続き運動を強めてまいります。

また、田辺副会長より補足があり、麻酔薬材料の算定は前々回の改定時に要求に入れ、前回改定時に手術が入った。次回改定時には導入させたいと発言がありました。

「知ってクパンフ」 ご案内

2022年度版

知ってトクする
医療・介護・税金の負担軽減策



利用することで自己負担を減らすことができる制度をわかりやすく解説しています。患者さん向けのパンフレットです。窓口や待合室でご活用ください。会員の先生方には無料でお送りします。追加注文は

保険医協会事務局まで
☎019-651-7341

常任理事会より5月・6月

(日時) 2022年

5月17日(火)

19:30~21:05

(場所) 盛岡フコク生命ビル会議室

(出席者) 役員、事務局併せて14名

1、2022年2月4月期活動報告並びに2022年

5月6月期活動計画等

が承認された

2、東北グループ保険の配

当金について承認され

た

3、第1回理事会の開催形

態について承認された

(日時) 2022年

6月14日(火)

19:30~20:50

(場所) 盛岡フコク生命ビル会議室

(出席者) 役員、事務局併せて13名

1、2022年5月期活動報告並びに2022年

6月7月期活動計画等

が承認された

2、保団連代議員会の出席者について承認された

3、東北ブロック会議の対応について承認された

4、講演会の企画について承認された

5、IV種会員の申請が承認された